

How Does the Stability of Loan Relation Depend on its Duration?: Evidence from Firm- and Bank-Level Data

日本政策投資銀行 宮川 大介

本論文は、日本における企業と銀行とのローン取引データ(1982-1999年)を用いて、企業 - 銀行間関係の頑健性(Stability)に関する分析を行ったものである。各種の Duration Model 推計を通じて、企業 - 銀行間関係が、各企業・銀行・マッチの特性にシステムティックに依存していること、及びローン取引関係の Hazard function が、比較的長期のレンジにおいて negative duration dependency を示すことが確認された。特に後者に関しては、ローン取引関係が長期に亘るに従って、企業 - 銀行間関係の解消可能性が低下していることを示唆しており、多くの理論的研究で指摘されている「関係特殊資産の蓄積」と整合的な結果となっている。